

# 診療充実など高評価

握し、堅実な病院運営が期待できる」とされ、選定委員会の高い評価を得た。

具体的には、現行の15診療科に加え、精神科や脳神経外科など4診療科を新設するほか、回復期リハビリや地域包括ケア病棟の計画、救急搬送患者に24時間365日対応する「二次救急拠点病院」を目指す方針などを示した。

県は公募の際、現行の医療水準（病床225床、15診療科、年間約800件の分娩実施など）の維持を条件にしており、来年4月の譲渡後も勤務を希望する職員を含めて引き継がれる。土地・建物など有償譲渡に

79年の開設以来、県医師会が運営してきた汐見台病院をめぐっては、2012年に外部委員会が▽県立で続けるならば専門医療に特化すべき▽総合病院を継続ならば民営化も含めて検討すべき」と両論を併記した報告書を提出。県は総合病院で存続させるため、県以外の設置・運営主体を検討してきた。（高本 雅通）

県立病院に関し、県は精神やがんなど高度専門医療を担う役割に特化させ、市町村立や民間の総合病院とのすみ分けを進めてきた。

公立民営病院として19

県と海水浴場がある13市町は18日、他の海水浴客の迷惑となる砂浜での飲酒や入れ墨の露出を控えるよう呼びかける一斉キャンペーンをスタートさせる。県の「海水浴場ルール」に関するガイドライン」策定後初の取り組みで、8月31日まで。

最近の海水浴場では風紀の乱れが問題となっており、利用者のマナー向上を図り、誰もが安心して快適に楽しめる海にするのが目的。砂浜での飲酒や入れ墨の露出は、逗子、鎌倉市が条例で禁止しているが、県が3月に作成したガイドラインでも県内統一で制限するよう明記している。キャンペーン

海の日制定を記念した「前夜祭」が17日、横浜市中区のアピオス横浜で開かれた。横浜の海洋関係者ら約100人が集まり、懇親を深めた。海洋会横浜支部、若葉会三管支部、全日本船舶職員協会横浜支部の主催で、帆船日本丸記念財団の協賛。

今年で20回目。主催を代表して、海洋会横浜支部の河原健支部長があいさつ。「海の恩恵があるからこそ

◆お問い合わせ◆  
お客様相談室 ☎045(227)0090  
(紙面に対するご意見ご要望:平日のみ)  
クロスメディア営業局 ☎045(227)0730  
(広告・イベント・印刷・書籍)  
販売局 ☎045(227)0700

## ウナギの未来考えよう

近年減少が問題となっているウナギの未来を考える公開シンポジウム「うなぎの未来Ⅲ 科学はウナギを救えるか」が19日、東京都文京区の東京大学農学部で行われる。ウナギ研究者と業界関係者でつくる東アジア鰻資源協議会・日本支部会の主催。

前半は、研究者らがそれぞれの研究成果を発表。後半は、大手スーパーマーケットや水産庁の代表者らも参加し、「科学は何を求めるか」と題したパネルディスカッションを行う。

パネルディスカッションで司会を務める北里大学海洋生命科学部(相模原市南区)の吉永龍起准教授は、「ウナギに興味のある幅広い人に来てもらい、日本の伝統的な食文化の未来について考えてほしい」と来場を呼び掛けている。

参加無料。午前9時から午後4時まで。

会場は、農学部キャンパスの弥生講堂一条ホール。詳細はホームページ(<http://easesc.info>)。

相模原市緑区方面から八王子市に至る有料道路「八王子バイパス」が、10月31日から無料になる。路線の料金収入で建設債務の償還完了に伴う。衆院国土交通委員会議員村賢太郎氏(比例南関東)と太田昭宏国交相が答えた。

本村氏は、民主党政権時代に実施した無料化社会実走する国道16号の交通量

## 八王子バイパス無料に

10月31日から無料に

少するなど、波及効果があることを踏まえ、「地元になった」と評価。一方市内で慢性化している国道の滞緩和に向け、「バイパスなどの対策を粘り強く働かせる」と話している。八王子は高速道路につながって道路で、1985年10月に開通。料金は、普通・軽自動車26430円、特大970円、原付など30円。(大橋 隆)

## 県内海水浴場 飲酒、入れ墨NG

県内海水浴場

最近の海水浴場では風紀の乱れが問題となっており、利用者のマナー向上を図り、誰もが安心して快適に楽しめる海にするのが目的。砂浜での飲酒や入れ墨の露出は、逗子、鎌倉市が条例で禁止しているが、県が3月に作成したガイドラインでも県内統一で制限するよう明記している。キャンペーン

## 海の日記念 100人が懇親

海の日制定を記念した「前夜祭」が17日、横浜市中区のアピオス横浜で開かれた。横浜の海洋関係者ら約100人が集まり、懇親を深めた。海洋会横浜支部、若葉会三管支部、全日本船舶職員協会横浜支部の主催で、帆船日本丸記念財団の協賛。



河原健支部長があいさつ

登録有形文化財 県内新たに6件

文科相へ答申

文化審議会は17日、兵庫県豊岡市の城崎温泉街にある鉄筋コンクリート造りの橋など、28道府県の建造物195件を登録有形文化財にするよう下村博文文部科学相に答申した。9月にも答申通り告示され、建造物

3822件になる。

県内からは、旧笹野家宅(相模原市緑区)の主・長屋門、小島家住宅(木市)の主屋・蔵・門、口家住宅(箱根町)の主の計6件が盛り込まれた。県内の登録数は186件になる。

ンペーンは、県内27の海水浴場の最寄り駅や海の家に「ルール・マナー違反はNG」と描かれたポスター11写真11を700枚掲示する

ほか、場内放送や普及啓発用品の配布で周知を図る。県や市町職員らによるパトロールも毎日行う。(高本 雅通)

◆近所フォーラムinみなみ実行委員会(広田和子委員長)5万3千円。横浜市中央区長者町

◆日・本社扱い

◆永良部島晴火災救援会

◆寄託

◆神奈川新聞

◆厚生文化事業団

◆04522220615

## 県内の交通事故

16日	死者	82	軽傷者	100
累計	死者	15327	軽傷者	18143
前年比	死者	-537	軽傷者	-110
	死者	-568	軽傷者	-568

◆叙位叙勲(17日、県内関係者)  
正四位瑞宝中級章 横濱国立大学名誉教授野垣善行氏(79)鎌倉市玉縄(6月18日死去)▽正六位上 元川崎市立新町小学校校長山本照子(88)川崎市麻生区上麻生(6月20日死去)▽従六位旭日双光章 元川崎市医師会副会長長定方恭一(87)川崎市幸区南加瀬(6月17日死去)